

財団法人 8020 推進財団

平成 21 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：吉川市水道水フロリデーション普及啓発活動事業

2. 申請者名：吉川市役所 市長 戸張胤茂

3. 実施組織：吉川市、吉川歯科医師会、吉川市母子愛育会、吉川市コミュニティ協議会、栄町3区町会、フッ素利用を進める女性の会、日本大学松戸歯学部（学術・技術支援）、日本口腔衛生学会（学術支援）、吉川市フロリデーション推進協議会

4. 事業概要：

市民が水道水フロリデーションを正しく理解し、吉川市における水道水フロリデーションの実現を目指すことを目的とした普及啓発促進事業である。

5. 事業の内容：

(1)フロリデーション水の試飲体験活動の実施

- ① 保健センター内に給水器を設置し、センター事業の参加者における試飲体験
- ② 吉川市民まつりにおける試飲体験
- ③ 吉川市コミュニティ協議会事業「魚つかみ取り大会」における試飲体験
- ④ 吉川市栄町三区夏祭りにおける試飲体験
- ⑤ その他必要に応じた試飲体験

(2)市内協力歯科医院におけるフロリデーション水の試飲体験及び意見の聴取

- ①協力歯科医師会員の診療所で随時フロリデーション水の試飲体験及びフロリデーションに関する感想及び意見などを聴取する。

(3)フロリデーションに関する意識調査の実施

- ①フロリデーション試飲体験活動の実施に伴い、アンケートによる意識調査を実施する。

(4)まちづくり出前講座の開催

- ①市民からの要請に応じて出先でフロリデーション啓発及びアンケートによる意識調査などを行う。

(5)フロリデーションに関する PR 活動の実施

- ①ポスター及びリーフレットの作成による啓発を行う。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

吉川市水道水フロリデーション普及啓発活動事業計画に基づいて水道水フロリデーションを正しく理解するために試飲体験コーナー、各種イベント及び出前講座などの事業を実施してきました。結果については、アンケートの回答結果からフロリデーションについての理解度は高まってきたものの、認知度は 35%台と低い状況なので、認知度の底上げを図りたい。このような状況を踏まえ、より多くの市民にフロリデーションに関する正しい知識を伝え、健康問題に興味を持たせたいと考えています。今後も引き続き水道水フロリデーションの普及啓発事業を提供し、歯科保健の活動に尽力を尽くしたい。